

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社リボン	代表者	飛田 尚文	法人・事業所の特徴	当社は総合福祉サービスを展開しており、ニーズに沿った様々な事業展開を行っています。当事業所におきましては、日本庭園があり、季節毎に咲き乱れる花に囲まれ、景観と共に大変に居心地の良い雰囲気になっています。又、敷地の一面を利用し家庭菜園を行い、利用者様と畑に植える苗を買い出しに行ったり、一緒に鋤を持ち畑を耕したりと和気あいあいの在宅生活を行っています。
事業所名	スローライフきまち	管理者	木藤 文江		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	*2ヶ月に1回の運営推進会議時に「ヒヤリ・ハット」の報告を行います。 *「ヒヤリ・ハット」を家族様にも配布を行い、風通しの良い施設作りを行います。	*ヒヤリ・ハットの報告を行う事で家族様も自宅での起こりうる事故防止が出来、より一層に風通しの良い関係作りが出来てきています。	*運営推進会議の報告・ヒヤリ、ハットの報告は風通しの良い施設で大変に良いと思う。 *「きまち食堂」の継続で地域との交流があり、今後も継続をお願いしたい。 *地域公園の花苗植栽で今後も地域貢献を行う。*地域防災訓練の参加を今後も継続を	*今後も「きまち長室」を通して地域との交流を行い又、地域行事への参加も率先して行っていきます。 *「ヒヤリ・ハット」は月1回の所属会議で話し合いを行い、家族様に配布を行っています。*「きまち食堂」の開催は今後も継続
B. 事業所のしつらえ・環境	*正面玄関にはスロープの設置を行い階段の上り下りが危険な方は、そこから上がって戴きます。	*スロープ設置後、職員は見守り介助を行いながら利用者様が選んでスロープを利用されたり階段を利用されています。	*居心地の良い空間となっている。玄関の上がりの階段も運動になり、とても良いと思う。 *茶の間の窓に手すりの設置を行ったほうが、良いのではないかと。	*今後も施設をしないように取り組んでいきます。 *正面玄関のスロープは今後も設置継続をしていきます。
C. 事業所と地域のかかわり	*期間限定(5月～10月)の食堂は今後も継続し、地域住民との関係も築いていきます。 *地域内公園の美化運動は今後も参加させていただきま。	*「きまち長室」も期間限定ではありましたが今後も継続を行い、地域住民との信頼関係を築いていきます。 *今年も公園の花壇をお借りして花を植えさせて頂きたいと思っ	*地域の子供会との交流があると良いのでは？ *地域の方から古いタオルを寄付して頂き、手作りの雑巾を小学校に寄付したらどうか、 *地域住民の皆様や利用者様からの雑巾やお手玉等の寄付は大変に良いと思う。	*現在地域の草取り、公園花壇の植栽を行っており、今後も継続していきます。 *手作り雑巾を小学校に寄付できる取組みの実施を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	*今後も信頼関係がより一層築けていけるように努力していきます。	*地域住民の皆様が気軽に来て頂ける施設作りに向け、努力していきます。	*地域の方向けに、介護教室の開催を行ったらどうか。 *認知症カフェ、オレンジカフェは、まだ地域の方へ知られていないようなので集まる人数も少ないのではないかと。	*「やさしい介護教室」の開催を行い、地域の方々理解を深めていただけるような取組みの実施(検討課題)。
E. 運営推進会議を活かした取組み	*運営推進会議の資料一式は、今後会議に参加されなかった利用者/家族様にも配布を行い、全員が運営推進会議の内容を把握できるように	*運営推進会議資料一式を登録者家族様に配布を行う事で、会議の内容が把握出来、いつ会議に参加されても会議の内容が把握されている為、スムーズに会議に入れる	*運営推進会議の議事録公開は市では検討はされていないのか？ *情報の公開が進めば遠方のご家族も確認できるのではないかと。	*当事業所がより風通しの良い事業所になるように又、遠方の家族様にも施設内の様子がわかるような取組みを行います。
F. 事業所の防災・災害対策	*町内会マップ作成後は情報を共有させて頂き、全面的に協力体制をとっていきます。	*町内会マップは事務所に掲示させて頂き、災害時には協力体制を取り、安心して住める地域作りを行う。	*防災訓練時は、ご近所への対応文書が必要ではないだろうか。	*防災訓練時には、近隣住民のもの防災訓練実施の文書の作成を行い、防災訓練日時の連絡を行う。